

22 文献総合目録

(1) 平成26年度に発表等を行った文献数一覧

(単位：編)

学 会 誌		公刊図書	機関誌	計
論文・報告	発表・講演要旨			
47	130	2	70	249

(2) 平成26年度に発表等を行った文献の目録

01 育種一般及び育種計画

011 総説

1. 高橋 誠：平成26年度に開発した新品種：林木育種情報、18:4-5:2015.03
2. 坪村 美代子・谷口 亨・高橋 誠：花粉症とスギの林木育種：最新・樹木医の手引き（改訂4版：日本緑化センター）、508-512:2014.06
3. 坪村 美代子・渡辺 敦史（九州大学）：DNA マーカーの概要と林木育種への適用：適正な採種園管理に向けて：北海道の林木育種、57:18-22:2014.8
4. 久保田 正裕：育種区と種苗配布区域について：森林遺伝育種、4(1):12-15:2015.01
5. 久保田 正裕：育種区と種苗配布区域について：関西育種場だより、75:3:2015.03

012 育種計画

1. 吉田 和正：林木育種におけるバイオテクノロジーの実用化：林木育種情報、17:1:2015.01
2. 高橋 誠：次世代育種における育種集団サイズと近交弱勢の影響：66(1):25-28:2015.03
3. TAKAHASHI Makoto(高橋 誠)・HANAOKA So(花岡 創)・MIURA Masahiro(三浦 真弘)・HIRAOKA Yuichiro(平岡 裕一郎)・WATANABE Atsushi(渡辺 敦史・九州大学)：The evaluation of environmental adaptability of *Cryptomeria japonica* by an across breeding regional clonal tests analysis(育種基本区間にまたがるクローン試験解析によるスギの環境適応性の評価)：Proceeding of International Symposium "Tree Breeding Strategies to Cope with Climate Change", 56-60:2014.09
4. 倉本 哲嗣：エリートツリーとは：コンテナ苗供給調整会議及び生産技術向上検討会資料(九州森林管理局主催)、巻号頁なし:2014.07
5. 倉本 哲嗣：九州育種場ではエリートツリーの開発を進めています：九州育種場だより、29:4-5:2014.07
6. 倉本 哲嗣：エリートツリーで変わる九州の森林・林業：平成26年度森林総合研究所公開講演会要旨:2014.10
7. 倉本 哲嗣：森林総合研究所公開講演会で九州育種場が開発したエリートツリーについて紹介：九州育種場だより、30:2:2015.01
8. 倉本 哲嗣：エリートツリーや優良品種で変わることー九州の林業の発展のためにー：平成26年度林木育種成果発表会、木材会館(東京都江東区)：成果発表1番目:2015.01

02 遺伝、育種及び変異

021 選抜

1. 宮崎 潤二(佐賀県林業試験場)・宮里 学(鹿児島県森林技術総合センター)・古澤 英生(宮崎県林業技術センター)・佐藤 嘉彦(大分県農林水産研究指導センター林業研究部)・高橋 誠・倉本 哲嗣・武津 英太郎・千吉良 治・渡辺 敦史(九州大学)：佐賀県内におけるスギ精英樹F1の成長について：第70回九州森林学会大会研究発表会プログラム、70:40:2014.10
2. 高橋 誠・栗田 学・平岡 裕一郎・井城 泰一・三嶋 賢太郎・坪村 美代子・能勢 美峰・花岡 創・藤澤 義武・渡部 敦史(九州大学)・田村 美帆(九州大学)：スギの器官別発現遺伝子の情報を統合～スギの品種改良の高速化に向けて～：森林総合研究所 平成26年版 研究成果選

- 集、58-59:2014.07
3. 高橋 誠:スギの器官別 EST 情報の統合:林木育種情報、17:4:2015.01
 4. 田村 明・山田 浩雄・福田 陽子・矢野 慶介・竹田 宣明・大城 浩司・上野 義人・植田 守・佐藤 亜樹彦・湯浅 真・上田 雄介・佐藤 新一・織田 春紀・黒丸 亮(道総研林試)・来田 和人(道総研林試)・今 博計(道総研林試):北海道育種基本区における第2世代精英樹候補木と優良木の選抜ー平成 25 年度の実施結果ー:平成 25 年度版林木育種センター年報:112-121:2015.03
 5. 平岡 裕一郎:成長形質を対象とした次世代育種の可能性:森林遺伝育種、3(4):161-163:2014.10
 6. 三嶋 賢太郎・平尾 知士・井城 泰一・平岡 裕一郎・坪村 美代子・能勢 美峰・花岡 創・栗田 学・高橋 誠・黒田 克史・藤原 健・田村 美帆(九州大学)・渡辺 敦史(九州大学):スギ連鎖地図作成と材質形質に関する QTL マッピング:第 65 回日本木材学会大会要旨集、B17-P-S13:2015.03
 7. 三嶋 賢太郎・平尾 知士・田村 美帆(九州大学)・井城 泰一・平岡 裕一郎・能勢 美峰・坪村 美代子・花岡 創・藤原 健・黒田 克史・栗田 学・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):スギの材質・成長形質に関する QTL 解析:第 126 回日本森林学会大会学術講演集 P1B059:2015.03
 8. 田村 美帆(九大院農)・郷田乃 真人(九大農)・福田 有樹(九大院農)・坪村 美代子・三嶋 賢太郎・渡辺 敦史(九大院農):大規模に集積されたスギ遺伝子のインフォマティクス解析:森林遺伝育種学会:第3回大会講演要旨集、17:2014.11
 9. 柳原 尚貴(九州大学)・坪村 美代子・平岡 裕一郎・栗田 学・平尾 知士・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):DNA マーカーに基づいた次世代優良少花粉スギの効率的スクリーニング:第 126 回日本森林学会・大会学術講演集:Pp.126:2015.03
 10. 久保田 正裕:スギ第2世代精英樹候補木の選抜ー滋賀県内の国有林に設定された育種集団林の事例ー:応用森林学会大会研究発表要旨集、65:29:2014.11
 11. 久保田 正裕:関西育種基本区における第2世代精英樹選抜に向けたスギ人工交配家系成長データの解析:日本森林学会大会講演集、125:216:2015.03
 12. 久保田 正裕・篠崎 夕子・磯田 圭哉・岩泉 正和・河合 慶恵・笹島 芳信・屋森 修一・祐延 邦資・坂本 庄生:関西育種基本区におけるスギ・ヒノキ第2世代精英樹候補木の選抜ー西山大 35 号、西大阪局 33 号、西大阪局 42 号、スギ 39 号における実行結果ー:林木育種センター年報(平成 26 年版)、55-59:2015.03
 13. 三浦 真弘:カラマツの第二世代精英樹の選抜に向けた研究:岩手の林業、687:8:2015.02
 14. 三浦 真弘:平成 25 年度東北育種基本区における新品種の開発:東北の林木育種、207:4-5:2014.07
 15. 玉城 聡・古本 良・大宮 泰徳・三浦 真弘・辻山 善洋・黒沼 幸樹:東北育種基本区におけるスギ第二世代精英樹候補木等の選抜ー平成 25 年度の実施結果ー:林木育種センター平成 26 年版年報:2015.03
 16. 倉本 哲嗣・松永 孝治・倉原 雄二・湯浅 真・山田 浩雄:スギ精英樹の植栽後 1~2 年の成長と 30 年時樹高の相関:九州森林研究、68:145-146:2015.03
 17. 倉本 哲嗣・松永 孝治・倉原 雄二・湯浅 真・山田 浩雄:スギ精英樹の植栽後 1~2 年の成長と 30 年時樹高の相関:九州森林学会研究発表会要旨集、70:40:2014.1
 18. 倉本 哲嗣・松永 孝治・武津 英太郎・千吉良 治・倉原 雄二・湯浅 真・山田 浩雄:スギ精

英樹の植栽後 1～2 年の成長と 30 年時樹高の相関:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:24:2014. 11

19. 倉本 哲嗣・松永 孝治・武津 英太郎・千吉良 治・倉原 雄二・湯浅 真・山田 浩雄:スギにおける幼老相関関係に基づいた苗畑段階における成長形質の選抜の可能性:日本森林学会大会学術講演集、126:208:2015. 03
20. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・福山 友博・千吉良 治・倉本 哲嗣・柏木 学・松永 順・古村 理恵子・濱本 光・江藤 香織・田代 今朝広・有村 孝一・湯浅 真・高橋 誠 九州育種基本区におけるスギおよびヒノキ第 2 世代精英樹候補木の選抜-九熊本第 121-1 号、122 号、123 号、138 号、116 号における実行結果-平成 26 年度版年報:135-140:2015. 03

0 2 2 交雑(技術、交雑プロジェクト等を含む)

1. 田村 明:ハイブリッドトウヒの育種:野幌の丘から、184:2:2015. 02
2. 坪村 美代子・平岡 裕一郎・栗田 学・高橋 誠・渡辺敦史(九州大学):優良な形質を導入した雄性不稔スグリソースの整備:第 3 回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、38:2014. 11
3. FUKATSU Eitaro(武津 英太郎)・HIRAOKA Yuichiro(平岡 裕一郎)・MATSUNAGA Koji(松永 孝治)・TSUBOMURA Miyoko(坪村 美代子)・NAKADA Ryogo(中田 了五):Genetic relationship between wood properties and growth traits in *Larix kaempferi* obtained from a diallel mating test(フルダイアレル交配試験より推定されたカラマツの木材性質と成長形質との遺伝的關係):Journal of Wood Science (日本木材学会)、10. 1007/s10086-014-1436-9:2014. 10

0 2 3 変異(系統分類、倍数体を含む)

1. 山田 浩雄・大塚 次郎・大久保 典久・佐藤 新一・加藤 智子・宮本 尚子・生方 正俊:スギ三倍体精英樹のさし木品種としての可能性:第 126 回日本森林学会大会学術講演集、P1B084、133:2015. 03
2. 谷口 亨:遺伝子組換え無花粉スギの野外試験栽培に向けて:平成 26 年度林木育種成果発表会、木材会館(東京都江東区):成果発表 5 番目:2015. 01
3. 吉田 和正:セイヨウハコヤナギのラパマイシン標的タンパク質遺伝子の塩基配列の解明:関東森林研究、65(1):137-138:2014. 03
4. 小長谷 賢一・栗田 学・二村 典宏・櫻井 哲也(理研 CSRS)・篠原 健司(理研 BMEP)・谷口 亨:スギにおける雌性生殖器官の遺伝子発現プロファイリングと EST データベースの構築:第 32 回日本植物細胞分子生物学会(盛岡)大会・シンポジウム講演要旨集、130:2014. 08
5. 小長谷 賢一・吉川 信幸(岩手大農)・谷口 亨:針葉樹における Apple latent spherical virus の感染性の検証:第 3 回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、21:2014. 11
6. 渡辺 敦史・平尾 知士:針葉樹の葉緑体ゲノムを対象とした最近の研究動向:森林遺伝育種、3(2):66-72:2014. 04
7. 半 智史(東京農工大学)・高田 直樹・吉田 誠(東京農工大学)・船田 良(東京農工大学):ポプラ放射柔細胞における xylem cysteine peptidase の遺伝子発現解析:日本植物学会第 78 回大会講演要旨集、P-162:2014. 09
8. Mark G. Ruhl(Umea University)・Manuela E. Jurca(Umea University)・Mikael Johansson(Bielefeld University)・TAKATA Naoki(高田 直樹)・Maria E. Eriksson(Umea University):Homologues of the human nuclear transcription factor, x-box binding

- protein 1 (NFX1) proteins regulate the plant circadian clock, with EARLY BIRD (EBI) mediating control of its central loop proteins. (NFX1 は EBI と協調的に生物時計システムを制御する):SWEDBO-The Swedish Developmental Biology Organization 2nd Conference、口頭発表 (Day1 16:30-16:45):2014. 1
9. NAKABA Satoshi(半 智史・東京農工大学)・ARAKAWA Izumi(荒川 泉・東京農工大学)・MORIMOTO Hikaru(森本 光・東京農工大学)・TAKATA Naoki(高田 直樹)・YOSHIDA Makoto(吉田 誠・東京農工大学)・SANO Yuzou(佐野 雄三・北海道大学)・FUNADA Ryo(船田 良・東京農工大学):Cell biological analysis of the death of long-lived ray parenchyma cells (放射柔細胞の細胞死過程の細胞生物学的解析):International Symposium on Wood Science and Technology 2015、口頭発表:5FS-010:2015. 03
 10. 高居 知弘(京都大学)・栗野 達也(京都大学)・高部 圭司(京都大学)・鈴木 史朗(京都大学)・高田 直樹:形質転換ポプラおよびイネプロトプラストを用いたゴルジ装置のライブセルイメージング:日本木材学会第 65 回大会講演要旨集、ポスター発表:A17-P-F15:2015. 03
 11. 高田 直樹・谷口 亨:表層微小管の空間構造を制御する新規因子の探索:日本木材学会第 65 回大会講演要旨集、口頭発表:A18-01-1300:2015. 03
 12. TAKATA Naoki(高田 直樹)・TANIGUCHI Toru(谷 口 亨):Transcriptional factors regulating microtubule orientation in *Populus tremula* × *Populus tremuloides* (ハイブリッドアスペンにおいて微小管配向を制御する転写因子の探索):日本植物生理学会第 56 回大会講演要旨集、ポスター発表:1Q30:2015. 03
 13. TAKATA Naoki(高田 直樹)・TANIGUCHI Toru(谷口 亨):Expression divergence of cellulose synthase (CesA) genes after a recent whole genome duplication event in *Populus* (ポプラにおける全ゲノム重複後のセルロース合成酵素の機能分化):Planta、241(1):29-42:2015. 01
 14. 高田 直樹:木質の構造と遺伝子(1):林木育種情報、17:5:2015. 01
 15. 高田 直樹:木質の構造と遺伝子(2):林木育種情報、18:7:2015. 03
 16. NAKABA Satoshi(半 智史・東京農工大学)・TAKATA Naoki(高田 直樹)・YOSHIDA Makoto(吉田 誠・東京農工大学)・FUNADA Ryo(船田 良・東京農工大学):Continuous expression of genes for xylem cysteine peptidases in long-lived ray parenchyma cells in *Populus* (ポプラの放射柔細胞において XCPs は持続的に発現する):Plant Biotechnology、32:21-24:2015. 03
 17. OHIRA Mineko(大平 峰子)・TAMURA Miho(田村 美穂・九州大学大学院)・HANAOKA So(花岡 創)・IKI Taiichi(井城 泰一)・HIRAOKA Yuichiro(平岡 裕一郎)・WATANABE Atsushi (渡辺 敦史・九州大学大学院):Clonal variations in the root traits of Japanese cedar and isolation of EST related to root development (スギ根系形質のクローン間変異と根系発達に関連する EST の単離):6th International symposium on physiological processes in roots of woody plants / Abstract book、71:2014. 9
 18. 坪村 美代子・栗田 学・渡辺 敦史(九州大学):組織観察および遺伝子発現解析によるスギ雄花発達過程のステージング:第 126 回日本森林学会・大会学術講演集、263:2015. 03
 19. 栗田 学:スギ A9 様遺伝子のプロモーターは形質転換体の雄花で強く活性化する:森林遺伝育種、3:58-62:2014. 12
 20. 武津 英太郎・千吉良 治・倉原 雄二・倉本 哲嗣・渡辺 敦史(九州大学)・宮本 尚子・高橋 誠:DNA マーカーにより同一遺伝子型を示す精英樹群内の形質評価値のバラツキ:九州森林学

会研究発表会要旨集、70:40:2014.10

21. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・倉本 哲嗣・柳原 尚貴(九州大学大学院・生物資源環境科学府)・渡辺敦史(九州大学大学院・生物資源環境科学府)・高橋 誠:スギの樹高成長および直径成長フェノロジーの遺伝性:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:41:2014.11
22. 武津 英太郎・平岡 裕一郎・松永 孝治・千吉良 治・倉本 哲嗣:複数年次・複数試験地のデータを同時に用いた系統評価法の検討:日本森林学会大会学術講演集、126:207:2015.03
23. 武津 英太郎・松永 孝治・倉原 雄二・千吉良 治・倉本 哲嗣・渡辺 敦史(九州大学)・宮本 尚子・高橋 誠:DNA マーカーにより同一遺伝子型を示す精英樹群内の形質評価値のバラツキ:九州森林研究、68:61-66:2015.03

03 樹種、品種の選択と植栽試験

031 次代検定(育種効果を含む)

1. 加藤 一隆・大平 峰子:スギエリートツリーの性能評価試験ー育苗6か月後の成長ー:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、1頁:2014.11
2. 平岡 裕一郎:3次元レーザ計測による検定林調査:林業いばらき No.687:2014.10
3. 平岡 裕一郎・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学農学部):林木育種における地上型レーザスキャナの応用:森林遺伝育種学会第3回大会講演要旨集、29:2014.11
4. 河合 慶恵:3D レーザースキャナー計測による検定林調査の試行:関西育種場だより、74:3:2014.07
5. 河合 慶恵・岩泉 正和・久保田 正裕・篠崎 タ子・磯田 圭哉:検定林調査における地上型3D レーザースキャナー計測技術の導入試験:平成26年度森林・林業交流研究発表集録(近畿中国森林管理局)、117-121:2015.03

033 産地試験

1. MIURA Masahiro(三浦 真弘)・HANAOKA So(花岡 創)・IKI Taiichi(井城 泰一)・HIRAOKA Yuichiro(平岡 裕一郎)・FUKATSU Eitaro(武津 英太郎)・TAKAHASHI Makoto(高橋 誠)・WATANABE Atsushi(渡辺 敦史・九州大学):Validation of the *Cryptomeria japonica* seed and seedling transfer system by progeny tests analysis in conjunction with environmental factors. (環境条件を考慮した次代検定林データ解析によるスギ種苗配布制度の検証):2014 IUFRO Forest Tree Breeding Conference, August 25-29, 2014. Prague, Czech Republic、P11:2014.08
2. 三浦 真弘・花岡 創・平岡 裕一郎・井城 泰一・磯田 圭哉・武津 英太郎・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):共通系統を用いたスギ初期成長の産地間差の解析:第126回日本森林学会大会学術講演集、P1B074:2015.03
3. 河合 慶恵・磯田 圭哉・岩泉 正和・久保田 正裕:スギ地域差検定林の若齢期枯損データに基づく育種区分の検討:応用森林学会大会研究発表要旨集、65:30:2014.11
4. 那須 仁弥・大谷 雅人・宮本 尚子・岩泉 正和:アカマツ2年生実生の苗畑における成長パターンの評価法の検討:関東森林研究、65(2):241-243:2014.7
5. 那須 仁弥・大谷 雅人・宮本 尚子・岩泉 正和:日本産アカマツ10産地の2年生実生におけ

- る土用芽伸長が翌年の伸長成長に与える影響:第4回関東森林学会大会講演要旨集、48:2014.10.
6. 那須 仁弥・岩泉 正和・千吉良 治・遠藤 圭太・大谷 雅人・木村 恵・宮本 尚子:3 試験地におけるアカマツ2年生実生の成長パターンの産地間変異:日本森林学会第125回学術講演集、P1B077:2015.03
 7. 那須 仁弥:アカマツにおける地域固有の遺伝変異の評価:林木育種情報 No.14、3:2015.03

04 採種園、結実促進、その他有性繁殖

041 採種園関係

1. 田村 明・生方 正俊・山田 浩雄・中田 了五・福田 陽子・矢野 慶介・織田 春樹:カラマツ採種園における列状間伐による着花促進効果:日本森林学会大会学術講演集、126:133:2015.03
2. 坪村 美代子・渡辺 敦史(九州大学):スギミニチュア採種園における外部花粉の影響:花粉症対策研究会成果集 2-3:2015.3

042 着花促進、種子生産性等

1. 生方 正俊・田村 明・今 博計(道総研林業試験場)・対馬 俊之(道総研林業試験場道北支場):北海道におけるカラマツとグイマツの種子成熟時期の地域間変異:第126回日本森林学会大会講演要旨集、P131:2015.03
2. 加藤 一隆・平岡 裕一郎・井城 泰一・大平 峰子・坪村 美代子・小野 雅子・栗田 学:ヒノキのジベレリン処理ーペーストと粉末処理による着花状況の比較試験ー:第4回関東森林学会大会講演要旨集、47頁:2014.1
3. 田村 明・織田 春樹・福田 陽子・矢野 慶介・玉城 聡・山田 浩雄:グイマツにおける着花促進処理のスクリーニング:北方森林研究、63:33-36:2015.02
4. 栗田 学・平岡 裕一郎・小野 雅子・平尾 知士・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):室内種子生産技術の最適化に向けた諸条件の検討:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:25:2014.11
5. 栗田 学・平岡 裕一郎・小野 雅子・平尾 知士・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):室内種子生産技術の実用化に向けた諸条件の検討:日本森林学会大会学術講演集、126:208:2015.03
6. 星崎 和彦(秋田県大)・安倍 一博(秋田県大)・松下 通也・野口 麻穂子・柴田 銃江・星野 大介(国際農研)・高橋 和規・大住 克博(鳥取大)・鈴木 和次郎(ブナセンター)・正木 隆:奥羽山系の溪畔混交林における種子生産の24年間の変動:森林学会要旨集 126:T9-5:2015.03

05 採穂園、その他無性繁殖

051 さし木、つぎ木、発根性等

1. 大平 峰子・花岡 創・平岡 裕一郎・栗田 学・渡辺 敦史(九州大学大学院):ジベレリン生合成阻害剤とオーキシンの併用によるスギさし木発根性向上の可能性:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:2014.11
2. 大平 峰子・花岡 創・平岡 裕一郎・栗田 学・渡辺 敦史(九州大学大学院):スギのさし木発根性の季節変動とその要因:第126回日本森林学会大会学術講演集、134:2015.3

3. 千吉良 治・松永 孝治:低台仕立ての採穂木を利用したマツのさし木におけるさし穂の切り口形状が根系等の形状に与える影響:九州森林学会大会、69:2014. 10

052 組織培養

1. 谷口 亨・石井 克明(国際環境研究協会):薬用系木本植物カギカズラの組織培養:関東森林研究 66:99-100:2015. 03
2. 石井 克明(国際環境研究協会)・谷口 亨・河村 文郎・尾坂 尚紀(元森林総研職員):絶滅危惧種ワダツミノキの薬用成分含量の解明と増殖方法の開発:平成 26 年度版 研究成果選集:66-67:2014. 07
3. 谷口 亨:薬用系機能性樹木の生産効率化手法の開発のための取り組み:公開講演会 九州地域研究発表会ー九州地域の林業活性化に向けてー(熊本県民交流館パレア:熊本市)15:00-15:30:2014. 10
4. 谷口 亨:薬用系機能性樹木の生産効率化手法の開発の取り組みを紹介:九州育種場だより 30:3:2015. 01
5. ISHI Katsuaki(石井 克明・国際環境研究協会)・TAKATA Naoki(高田 直樹)・TANIGUCHI Toru(谷口 亨):MICROPROPAGATION OF UNCARIA RHYNCHOPHYLLA - A MEDICINAL WOODY PLANT(薬用樹木カギカズラのマイクロプロパゲーション):Combined Proceedings International Plant Propagator's Society、63:353-356:2014. 1

06 育苗・その他形質記録

061 育苗

1. 田村 明・落合 幸仁・小川 瞳(東大北演)・木村 徳志(東京大学北海道演習林)・福岡 哲(東京大学北海道演習林):北海道固有の森林資源再生を目指したエゾマツの早出し健全苗生産システムの確立ーコンテナに移植後の管理と育苗期間の短縮ー:平成 26 年北海道森づくり研究成果発表会(森林整備部門)、ポスター発表:2014. 04
2. 大平 峰子・久保田 権:スギのコンテナ苗育成における用土および施肥の影響:第 4 回関東森林学会大会講演要旨集、45:2014. 10

07 樹木園、緑化樹及び広葉樹の育種

072 広葉樹の育種

1. 板鼻 直榮・今野 敏彦・尾坂 尚紀:イジュの開花習性:亜熱帯森林・林業研究会研究発表論文集(平成 25 年度)、12-15:2014. 8
2. 板鼻 直榮・古本 良・楠城 時彦・尾坂 尚紀:西表島古見におけるイジュの開花期間:亜熱帯森林・林業研究会研究発表会要旨集(平成 26 年度)、9:2014. 8
3. 板鼻 直榮・楠城 時彦・古本 良:イジュの人工交配による種子の生産:日本森林学会大会学術講演集、126: 132:2015. 3
4. 板鼻 直榮:イジュの開花期間と人工交配の取組:林木育種情報、18:9:2015. 3
5. 片井 秀幸(静岡県)・山田 晋也(静岡県)・平岡 宏一(黒松内町ブナセンター)・星川 健史(静岡県)・戸丸 信弘(名古屋大学)・高橋 誠:静岡県に植栽されたブナ個体の遺伝的系統と遺伝

- 的多様性:森林遺伝育種、3(3):101-110:2014.07
6. 稲永 路子(名古屋大学大学院生命農学研究科)・小山 泰弘(長野県林務部)・井田 秀行(信州大学教育学部)・岡田 充弘(長野県林業総合センター)・中西 敦史(愛知県豊田加茂農林水産事務所)・高橋 誠・戸丸 信弘(名古屋大学大学院生命農学研究科):長野県のブナ孤立小集団において検出された長距離花粉散布:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集:43:2014.11
 7. AGUNG Prasetyo(宇都宮大学)・AISO Haruna(相蘇春菜・東京農工大学大学院)・TANABE Jun(田邊 純・東京農工大学大学院)・FANNY Hidayati(Gadjah Mada University)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・Endo Ryota(遠藤 良太・千葉県農林総合研究センター)・ISHIGURI Futoshi(石栗太・宇都宮大学)・OHSHIMA Jyunichi(大島 潤一・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Mechanical property of keyaki (*Zelkova serrata*) trees from eight half-sib families(ケヤキ(*Zelkova serrata*)8家系における機械的性質):第65回日本木材学会大会研究発表要旨集、B17-P-S05:2015.03

08 森林保護技術と被害様式

081 気象害抵抗性育種(凍害、寒風害、雪害等)

1. Takata Katsuhiko(高田 克彦・秋田県立大学)・Kobayashi Kei(小林 慧・秋田県立大学)・Hasegawa Yoichi(長谷川 陽一・秋田県立大学)・Taki Seishiro(瀧誠 志郎・秋田県立大学)・Oribe Yuichiro(織部 雄一郎)・Furumoto Ryo(古本 良)・Hirao Tomonori(平尾 知士):Evaluation of characteristics of the cultivars with resistance to snow-damage of Japanese cedar. (雪害抵抗性スギ品種の特性評価):Book of Abstracts 2014 IUFRO Forest Tree Breeding Conference、28:2014.08
2. Oribe Yuichiro(織部 雄一郎)・Sato Hirofumi(佐藤 博文・秋田県林業研究研修センター)・Watanabe Koichi(渡部 公一・山形県森林研究研修センター)・Miyashita Tomohiro(宮下 智弘・山形県森林研究研修センター)・Iwai Junji(岩井 淳治・森林研究所):Development of varieties of Japanese cedar, *Cryptomeria japonica*, superior to resistance against damage from snow pressure in Japan. (日本における雪害抵抗性スギ品種の開発):Book of Abstracts 2014 IUFRO Forest Tree Breeding Conference、69:2014.08
3. 玉城 聡・三浦 真弘・千葉 信隆・山野邊 太郎・織部 雄一郎・落合 幸仁:多雪地に植栽したスギ雪害抵抗性品種コンテナ苗の活着状況:東北森林科学会第19回大会講演要旨集、33:2014.09
4. 玉城 聡・三浦 真弘・千葉 信隆・山野邊 太郎・織部 雄一郎・落合 幸仁:多雪地に植栽したスギ雪害抵抗性品種コンテナ苗の活着状況と1年目の成長:第126回日本森林学会学術講演集、132:2015.03

082 病虫害抵抗性育種(昆虫害、病害等)

1. HIRAO Tomonori(平尾 知士)・MATSUNAGA Koji(松永 孝治)・MISHIMA Kentaro(三嶋 賢太郎)・WATANABE Atsushi(渡辺 敦史・九州大学):QTL mapping combined with microarray profiling data for the identification of Pine wood nematode (PWN) resistance genes in *Pinus thunbergii*. (クロマツにおけるマツノザイセンチュウ抵抗性遺伝子の同定に関するマイクロアレイ解析を組み合わせたQTL解析):Plant and Animal Genome、23:222:2015.01

2. 平尾 知士:順遺伝学的アプローチによるマツ材線虫病に対するクロマツ生体防御反応の解明:日本森林学会大会学術講演集、126:95:2015.03
3. 平尾 知士:マツノザイセンチュウの感染に対する寄主マツ遺伝子の応答:線虫学実験(水久保隆之・二井一禎編者、京都大学学術出版会)、309-311:2014.10
4. 加藤 一隆(共著):樹木における病虫害抵抗性育種の現状と課題:樹木医学の基礎講座(樹木医学学会編)、海青社、271-278:2014.12
5. 山野邊 太郎・織部 雄一郎・古本 良・高倉 良紀・福田 友之:東北育種場における東北地方等マツノザイセンチュウ抵抗性育種事業-平成25年度の実施結果-:平成26年度林木育種センター年報:141-144:2014.12
6. 山野邊 太郎:松くい虫(マツ材線虫病)の概要と東北地区の抵抗性育種事業:独立行政法人森林総合研究所公開講演会-東北の未来につなぐ森づくり-プログラム、9:2014.10
7. 織部 雄一郎・山野 邊太郎:海岸防災林再生現場への抵抗性クロマツ供給体制の確立 東北森林科学会第19回講演要旨集、11:2014.09
8. 織部 雄一郎:東北地方太平洋沖地震で壊滅した海岸防災林再生への取り組み～東北における抵抗性クロマツ種苗の供給システムの確立を目指して～:みどりの東北、120:6:2014.03
9. 織部 雄一郎:海岸防災林の再生への取組:林木育種情報、16:4:2014.07
10. 織部 雄一郎:松枯れに強いクロマツ苗木供給への取り組みー東日本大震災で壊滅した海岸防災林再生にむけてー:森林と林業、7:14-15:2014.07
11. 松永 孝治:抵抗性マツの特性と利用法について:2014年度第1回ワークショップ「知多半島における生態系ネットワーク形成」:2014.10
12. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・倉本 哲嗣:九州地域のマツノザイセンチュウ抵抗性育種事業における選抜母集団、品種、採種園産種苗の遺伝的改良:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:28:2014.11
13. 小林 玄(九大院農)・松永 孝治・渡辺 敦史(九大院農):マツノザイセンチュウの増殖と病原性の関係:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:15:2014.11
14. 松永 孝治・千吉良 治・武津 英太郎・倉原 雄二・倉本 哲嗣:光強度の違いが抵抗性クロマツの材線虫病抵抗性に及ぼす影響:九州森林研究、68:141-143:2015.3
15. 松永 孝治:マツノザイセンチュウの表現型評価と次世代抵抗性育種のスキーム:日本森林学会大会学術講演集、126:95:2015.3
16. 恒川 佳世(名大院農)・梶村 恒(名大院農)・松永 孝治:電気インパルスによる水中および材内のマツノザイセンチュウの殺虫試験:日本森林学会大会学術講演集、126:155:2015.3
17. 小林 玄(九大院農)・松永 孝治・渡辺 敦史(九大院農):次世代抵抗性品種開発に向けたマツノザイセンチュウの再収集と遺伝資源評価:日本森林学会大会学術講演集、126:15:2015.3
18. 下山 泰史(ゾエティスジャパン)・久保田 好枝(ゾエティスジャパン)・丸 章彦(ゾエティスジャパン)・松永 孝治:「抵抗性マツと樹幹注入剤を併用した場合のマツ材線虫病に対する防除効果ー2」～3年生苗木への接種線虫数が防除効果に及ぼす影響～:日本森林学会大会学術講演集、126:154:2015.3
19. 松永 孝治:九州地域におけるクロマツの抵抗性育種事業の実施状況:平成26年度九州地域森林技術研究協議会:2015.03
20. 松永 孝治:九州地域におけるクロマツの抵抗性育種事業の実施状況:平成26年度九州地域技術開発評議会:2015.02

21. 中林 優季(秋田県大)・松下 通也・真宮 靖治(無所属)・星崎 和彦(秋田県大):マツ材線虫病の発病に至らなかった個体における病原体検出試験ー潜在感染化するのか?ー:樹木医学会要旨集 19:P-2:2014. 11

09 育種材料の特性

091 総合特性(成長、形態等)

1. 磯田 圭哉・岡村 政則(森林総研非常勤職員)・笹島 芳信・河合 貴之・祐延 邦資(森林総研非常勤職員):関西育種基本区選抜ヒノキ精英樹のさし木発根性および苗形態特性の評価:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、22:2014. 11
2. SUZUKI Hiromu(鈴木 拓・宇都宮大学)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・YOSHIZAWA Nobuo(吉澤 信夫・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Proteomic analysis of responsive proteins induced in japanese birch plantlet treated with salicylic acid(サリチル酸処理したシラカンバにおいて誘導される応答タンパク質のプロテオーム解析):Proteomes、2:323-340:2014. 06
3. TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・TAMURA Akira(田村 明)・NOSEDA Naoya(野瀬田 直也・宇都宮大学)・TANABE Jun(田邊 純・宇都宮大学)・MAKINO Kazuko(牧野 和子・宇都宮大学)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・HABU Naoto(羽生 直人・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Diversities of decay resistance and n-hexane-extractable contents in seven half-sib families from plus trees in todomatsu (*Abies sachalinensis*) (トドマツ(*Abies sachalinensis*) 精英樹 7 家系における耐朽性および n-ヘキサン抽出物量の変異):Journal of Wood Science、DOI:10.1007/s10086-014-1448-5:2014. 11
4. 井城 泰一・平岡 裕一郎:炭素を多く固定できるスギ品種の評価とその効果 地球温暖化の中で森林を活かす、43:2014. 11
5. 玉城 聡:ミニ林木育種事典「エリートツリー」:東北の林木育種、207:8:2014. 07
6. 玉城 聡:東北育種基本区におけるエリートツリーの開発:林木育種情報、17:2:2015. 01
7. 世見 淳一(宮崎県林業技術センター)・古澤 英生(宮崎県林業技術センター)・武津 英太郎・千吉良 治・倉本 哲嗣・高橋 誠:成長速度に優れたオビスギの壮齡期以降の成長パターンと材質:九州森林学会研究発表会要旨集、70:40:2014. 10
8. 花岡 創:テリハボクの研究から見た島嶼樹木集団の遺伝的多様性の脆弱性:林木育種情報、16:7:2014. 07
9. 花岡 創・加藤 一隆・尾坂 尚紀:テリハボクの事例からみた島嶼樹木集団の遺伝的多様性の脆弱性:平成 26 年度 亜熱帯森林・林業研究会講演要旨集、P9:2014. 08

092 成長

1. 平岡 裕一郎・光田 靖(宮崎大学農学部)・井城 泰一・花岡 創・武津 英太郎・三浦 真弘・渡辺 敦史(九州大学農学部):環境因子を考慮したスギさし木クローンの成長解析:第 126 回日本森林学会大会講演要旨集、P1B089:2015. 03
2. 能勢 美峰・栗田 学・平岡 裕一郎・井城 泰一・武津 英太郎・高橋 誠・花岡 創・三浦 真弘・三嶋 賢太郎・高島 有哉・坪村 美代子・柳原 尚貴(九州大学)・田村 美帆(九州大学)・

- 渡辺 敦史(九州大学):環境の異なる植栽地におけるスギの成長と遺伝子発現:第 126 回日本森林学会大会学術講演集、p262:2015 年 3 月
3. 井城 泰一・大平 峰子・花岡 創・高島 有哉・平岡 裕一郎・渡辺 敦史(九州大学):スギ精英樹クローンの苗木における初期成長の評価:第 126 回日本森林学会大会学術講演集、P1B073、130 2015. 03
 4. 矢野 慶介:研究成果の発表:野幌の丘より、184:4:2015. 02
 5. 花岡 創・三浦 真弘・平岡 裕一郎・磯田 圭哉・武津 英太郎・高橋 誠・渡辺 敦史(九州大学):象環境条件に基づくスギの樹高成長予測:日本森林学会、P1B075:2015. 03

093 材質(心材色を含む)

1. FUJIMOTO Takaaki(藤本 孝明・鳥取大学)・CHIYODA Keisuke(千代田 啓介・鳥取大学)・YAMAGUCHI Kazuho(山口 和穂・元森林総研職員)・ISODA Keiya(磯田 圭哉):Heritability estimates for wood stiffness and its related near-infrared spectral bands in sugi (*Cryptomeria japonica*) clones(スギ精英樹クローンにおける木材強度と関連する近赤外スペクトルバンドの遺伝率の推定):Journal of Forest Research、10.1007/s10310-014-0464-z:2014. 09
2. 田村 明:材質優良トドマツ品種の開発:野幌の丘から、184:1:2015. 02
3. TAKASHIMA Yuya(高島 有哉・宇都宮大学)・TAMURA Akira(田村 明・宇都宮大学)・NOSEDA Naoya(野瀬田 直也・宇都宮大学)・TANABE Jun(田邊 純・東京農工大学連合農学研究科)・MAKINO Kazuko(宇都宮大学)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・HABU Naoto(羽生 直人・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Diversities of decay resistance and n-hexane-extractive contents in seven half-sib families from plus trees in todomatsu(*Abies sahalinensis*)(実生トドマツ精英樹 7 家系における n-ヘキサン抽出物と耐朽性の変異):Journal of Wood Science、DOI:10.1007/s10086-014-1448-5:2014. 11
4. TANABE Jun(田邊 純・東京農工大学連合農学研究科)・TAMURA Akira(田村 明・宇都宮大学)・HAMANAKA Mika(浜中 美佳・宇都宮大学)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉・宇都宮大学)・OHSHIMA Jyunichi(大島 潤一・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Wood properties and their among-family variations in 10 open-pollinated families of *Picea jezoensis*(エゾマツ自然交配 10 家系における木材性質と家系間変異):Journal of Wood Science、60(5):297-304:2014. 10
5. TANABE Jun(田邊 純・東京農工大学連合農学研究科)・TAMURA Akira(田村 明)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinzo(横田 信三・宇都宮大学):Inheritance of basic density and microfibril angle and their variations among full-sib families and their parental clones in *Picea glehnii*(アカエゾマツにおける容積密度とミクロフィブリル傾角の遺伝性と全家系間および両親クローン間の遺伝変異):Holzforschung、DOI:10.1515/hf-2014-0052:2014. 10
6. 田邊 純(東京農工大学連合農学研究科)・石栗 太(宇都宮大学)・田村 明・飯塚 和也(宇都宮大学)・横田 信三(宇都宮大学):トウヒ属精英樹家系における木材性質の変異:第 3 回 森林遺

- 伝育種学会大会講演要旨集、30:2014. 11
7. 田邊 純(宇都宮大学)・田村 明・佐藤 桂太(宇都宮大学)・石栗 太(宇都宮大学)・大島 潤一(宇都宮大学)・飯塚 和也(宇都宮大学)・横田 信三(宇都宮大学):アカエゾマツの曲げ性能に及ぼす密度とマイクロフィブリル傾角の影響:日本木材学会大会研究発表要旨集、65:B17-P-S11:2015. 03
 8. 宮下 久哉・井城 泰一・高島 有哉・平岡 裕一郎:カラマツ精英樹実生後代におけるピロディン陥入量の遺伝性:第 65 回日本木材学会大会研究発表要旨集、142:2015. 03
 9. 三嶋 賢太郎・藤原 健・井城 泰一・高島 有哉・黒田 克史・栗田 学・渡辺 敦史(九州大学):形成層活動期における材関連遺伝子の発現パターンのクローン間差:第 3 回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、5:2014. 11
 10. 三嶋 賢太郎・藤原 健・井城 泰一・黒田 克史・山下 香菜・田村 美帆(九州大学)・藤澤 義武・渡辺 敦史(九州大学):発現遺伝子による材関連遺伝子マーカー開発の可能性:森林遺伝育種、3(4):167-172:2014. 10
 11. 福田 有樹(九州大学)・三嶋 賢太郎・田村 美帆(九州大学)・渡辺 敦史(九州大学):環境シグナルに対するスギ木部形成遺伝子群の発現応答:第 126 回日本森林学会大会学術講演集 P1B119:2015. 03
 12. AISO Haruna(相蘇 春菜・宇都宮大学)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Reaction wood anatomy in a vessel-less angiosperm *Sarcandra glabra*(無道管広葉樹であるセンリョウ (*Sarcandra glabra*) におけるあて材の組織学的研究):IAWA Journal、35(2):116-126:2014. 05
 13. 石栗 太(宇都宮大学)・嶋原 聖(宇都宮大学)・亀山 雄掙(栃木県林業センター)・大野 英克(栃木県林業センター)・大島 潤一(山形県工業技術センター)・高島 有哉・飯塚 和也(宇都宮大学)・横田 信三(宇都宮大学)・吉澤 伸夫(宇都宮大学):異なる年輪数で構成されたスギ柱材の実大曲げ性能と木材性質の関係:木材工業、69(6):242-246:2014. 06
 14. IMAM Wahyudi(Bogor Agricultural University)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・AISO Haruna(相蘇 春菜・宇都宮大学)・WIWIN Tyas Istikowati(宇都宮大学・東京農工大学大学院・Lambung Mangkurat University)・BUDI Suty(Lambung Mangkurat University)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・OHKUBO Tatsuhiko(大久保 達弘・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):Anatomical characteristics and wood properties of *Melaleuca leucadendron* naturally growing in secondary forest in Indonesia(インドネシアの二次林において天然更新した *Melaleuca leucadendron* の組織学的特徴および木材性質):Australian Forestry、77:168-172:2014. 09
 15. 平岩 季子(宇都宮大学農学部)・石栗 太(宇都宮大学農学部)・遠藤 良太(千葉県農林総合研究センター)・武山 富士雄(千葉県森林組合安房支所)・田邊 純(宇都宮大学)・亀山 雄掙(栃木県林業センター)・大野 英克(栃木県林業センター)・高島 有哉・飯塚和也(宇都宮大学)・横田 信三(宇都宮大学):千葉県に植栽されたサンプスギの木材の性質:材料、63(9):635-640:2014. 09
 16. 高島 有哉・井城 泰一・平岡 裕一郎・宮下 久哉・藤澤 義武・石栗 太(宇都宮大学):カラマツ人工交配家系を用いた容積密度の幼老相関:第 3 回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、31:2014. 11

17. 高島 有哉・井城 泰一・平岡 裕一郎・宮下 久哉・田悟 菜摘(宇都宮大学)石栗 太(宇都宮大学):36年生カラマツ精英樹人工交配家系における諸形質の遺伝性:第65回日本木材学会大会研究発表要旨集、B17-P-S09:2015.03
18. Kudo Kayo(工藤 佳世・東京農工大学)・Nabeshima Eri(鍋嶋 絵里・愛媛大学)Begum Shahanara(バングラデシュ農科大学)・Yamagishi Yusuke(山岸 祐介・東京農工大学)・Nakaba Satoshi(半 智史・東京農工大学)・Oribе Yuichiro(織部 雄一郎)・Yasue Koh(安江 恒・信州大学)・Funada Ryo(船田 良・東京農工大学):The effects of localized heating and disbudding on cambial reactivation and formation of earlywood vessels in seedlings of the deciduous ring-porous hardwood, *Quercus serrata*. (落葉性環孔材広葉樹コナラの実生苗において局所加温と摘芽が形成層再活動と早材道管の形成に及ぼす影響):Annals of Botany、113(6):1021-1027:2014.05
19. 工藤 佳世(東京農工大学)・鍋嶋 絵里(愛媛大学)・Rahman Md Hasnat(東京農工大学)・山岸 祐介(東京農工大学)・Begum Shahanara・(バングラデシュ農科大)・織部 雄一郎・半 智史(東京農工大学)・船田 良(東京農工大学):コナラ苗木樹幹に対する摘芽処理およびオーキシン輸送阻害剤塗布処理が道管形成に与える影響:第65回日本木材学会大会研究発表要旨集、A18-01-1015:2015.03
20. 桑山 明希(信州大学)・織部 雄一郎・安江恒(信州大学):カラマツ樹幹の局所冷却による形成層活動への影響:第65回日本木材学会大会研究発表要旨集、A17-P-F12:2015.03
21. Rahman Md Hasnat(東京農工大学)・山岸 祐介(東京農工大学)・工藤 佳世(東京農工大学)・松岡 佑悟(東京農工大学)・Begum Shahanara・(バングラデシュ農科大)・織部 雄一郎・(農工大農)・半 智史(東京農工大学)・船田 良(東京農工大学):Cambial reactivation and xylem differentiation induced by localized heating of stems in conifer sawara (*Chamaecyparis pisifera*) trees. (局所加温処理によって誘導されたサワラの形成層再活動と木部分化):Abstracts International Symposium on Wood Science and Technology 2015:2015.03
22. 井城 泰一・高島:有哉・三嶋 賢太郎・平岡 裕一郎・三浦 真弘・渡辺 敦史(九州大学):スギ人工交配家系を用いた容積密度の早期選抜の検討:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、39:2014.11
23. 井城 泰一:材質形質育種の可能性:森林遺伝育種、3(4):164-166:2014.10
24. 井城 泰一:8th Pacific Regional Wood Anatomy Conference (PRWAC)に参加して:森林遺伝育種、3(2):89-91:2014.04
25. 井城 泰一・高島 有哉・平岡 裕一郎・三浦 真弘・渡辺 敦史(九州大学):スギ人工交配家系を用いた容積密度の遺伝性:第65回日本木材学会大会研究発表要旨集、B17-P-S14、143:2015.03
26. ARAKAWA Izumi(荒川 泉・東京農工大学)・MORIMOTO Hikaru(森本 光・東京農工大学)・NAKADA Ryogo(中田 了五)・FUNADA Ryo(船田 良・東京農工大学)・Nakaba Satoshi(半 智史・東京農工大学):Changes in cellular contents of ray parenchyma cells during heartwood formation in *Cryptomeria japonica* (スギの心材形成における放射柔細胞の細胞内容物の変化):Program book of the 6th international symposium of Indonesian Wood Research Society (IWORS) “the utilization of biomass from forest and plantation for environmental conservation efforts”, Medan, Indonesia, November 12-13, 2014、166:2014.11
27. 中田 了五:針葉樹生立木樹幹含水率の連続モニタリング:第65回日本木材学会大会研究発表

要旨集 CD、B18-03-1400:2015.03

28. ARAKAWA Izumi (荒川 泉・東京農工大学)・MORIMOTO Hikaru (森本 光・東京農工大学)・NAKADA Ryogo (中田 了五)・FUNADA Ryo (船田 良・東京農工大学)・Nakaba Satoshi (半 智史・東京農工大学): Morphological changes and disappearance of nuclei in ray parenchyma cells during heartwood formation in *Cryptomeria japonica* (スギの心材形成過程における放射柔細胞の核の形態変化と消失): Abstract Book, IAWPS 2015 International Symposium on Wood Science and Technology 2015、5FS-P15:2015.03
29. 河西 優衣 (名古屋大学)・佐藤 良勝 (名古屋大学)・半 智史 (東京農工大学)・中田 了五・今井 貴規 (名古屋大学): カラマツ心材成分の堆積に関する組織化学的研究: 第 65 回日本木材学会大会研究発表要旨集 CD、A18-01-1100:2015.03
30. 倉原 雄二: 9 年生スギクロンの応力波伝播速度によるヤング率の評価: 九州森林研究、68:147-149:2015.03
31. KURAHARA Yuji (倉原 雄二): Developing the evaluation method for wood stiffness of sugi (Japanese cedar, *Cryptomeria japonica* D. Don) at nursery stage. (若齢時でのスギのヤング率評価法の開発): International Forestry Review、16(5):441:2014.10

094 抵抗性

1. 磯田 圭哉・杉本 博之 (山口県農林総セ): 抵抗性アカマツ 3 品種へのマツノマダラカミキリ非選択性試験: 日本森林学会大会学術講演集、126:230:2015.03
2. 宮下 久哉・加藤 一隆・平岡 裕一郎: 人工交配家系を用いたスギカミキリ抵抗性に関する遺伝性の検討: 関東森林研究第 66 巻 1 号、37-40:2015.03
3. 宮下 久哉・加藤 一隆・平岡 裕一郎: 人工交配家系を用いたスギカミキリ抵抗性に関する遺伝性の検討: 第 4 回関東森林学会大会、F05:2014.10
4. 岩泉 正和・磯田 圭哉・松永 孝治・平尾 知士・井城 泰一・高橋 誠・山野邊 太郎・渡辺 敦史 (九州大学): マツノザイセンチュウ抵抗性育種における事業・研究材料の共有化の取り組み: 森林遺伝育種学会大会講演要旨集 3、5:2014.11
5. 岩泉 正和・磯田 圭哉・久保田 正裕・井城 泰一・平岡 裕一郎・玉城 聡・板鼻 直栄: 抵抗性アカマツのハーフダイヤレル交配家系における抵抗性の組み合わせ能力: 日本森林学会大会学術講演集 126:2015.03

095 その他

1. 磯田 圭哉・河合 慶恵・山田 浩雄: 三重不稔(関西) 1 号と「爽春」の保有する雄性不稔遺伝子の相同性の確認: 応用森林学会大会研究発表要旨集、65:27:2014.11
2. 谷口 亨・河村 文郎・尾坂 尚紀 (元森林総研職員): ワダツミノキの抗がん剤原料成分の含有率: 林木育種情報 16:5:2014.10
3. OHIRA Mineko (大平 峰子)・TAMURA Miho (田村 美穂・九州大学大学院)・HANAOKA So (花岡 創)・IKI Taiichi (井城 泰一)・HIRAOKA Yuichiro (平岡 裕一郎)・WATANABE Atsushi (渡辺 敦史・九州大学大学院): Clonal variations in the root traits of Japanese cedar and isolation of EST related to root development (スギ根系形質のクローン間変異と根系発達に関連する EST の単離): 6th International symposium on physiological processes in roots of woody plants / Abstract book、71:2014.9

4. 能勢 美峰・渡辺 敦史(九州大学):Clock genes and diurnal transcriptome dynamics in summer and winter in the gymnosperm Japanese cedar (*Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don):BMC Plant biology:2014 年 11 月
5. 能勢 美峰・栗田 学・平岡 裕一郎・井城 泰一・武津 英太郎・高橋 誠・花岡 創・三浦 真弘・三嶋 賢太郎・高島 有哉・坪村 美代子・柳原 尚貴(九州大学)・田村 美帆(九州大学)・渡辺 敦史(九州大学):スギの環境に対する応答:第 3 回森林遺伝育種学会大会講演要旨集:2014 年 11 月
6. 能勢 美峰・栗田 学・平岡 裕一郎・井城 泰一・武津 英太郎・高橋 誠・花岡 創・三浦 真弘・三嶋 賢太郎・高島 有哉・坪村 美代子・柳原 尚貴(九州大学)・田村 美帆(九州大学)・渡辺 敦史(九州大学):自然条件下におけるスギの遺伝子発現の年周性と植栽環境による違い:第 56 回日本植物生理学会大会、2U40:2015 年 3 月
7. UEDA Chisato(上田 智聡・東京農工大学・宇都宮大学)・TAKASHIMA Yuya(高島 有哉)・ISHIGURI Futoshi(石栗 太・宇都宮大学)・IIZUKA Kazuya(飯塚 和也・宇都宮大学)・YOSHIZAWA Nobuo(吉澤 信夫・宇都宮大学)・YOKOTA Shinso(横田 信三・宇都宮大学):
Ozone oxidation pretreatment for enzymatic saccharification of spent culture media after *Lentinula edodes* cultivation(シイタケ廃菌床の酵素糖化のためのオゾン酸化前処理):Journal of Wood Science、DOI:10.1007/s10086-014-1441-z:2014.1
8. 河合 慶恵:地域差検定林データから明らかになる系統ごとの生存特性:関西育種場だより、76:2:2015.03
9. Manabu Kurita(栗田 学)・Ken-ichi Konagaya(小長谷 賢一)・Miyoko Tsubomura(坪村 美代子)・Tomonori Hirao(平尾 知士)・Atsushi Watanabe(渡辺 敦史)(九州大学)・Toru Taniguchi(谷口 亨):Male sterilization of *Cryptomeria japonica* by the barnase/barstar system. (バルナーゼ／バルスターシステムによるスギの雄性不稔化):International Forestry Review、16(5):382:2014.10

10 遺伝資源

101 収集、保存

1. 生方 正俊・加藤 智子・大久保 典久・大塚 次郎:絶滅危惧種オガサワラグワの時期別のさし木発根性:第 4 回関東森林学会大会講演要旨集、44:2014.10
2. 生方 正俊・大谷 雅人・藤田 富二(関東森林管理局)・安井 隆弥(小笠原野生研):絶滅危惧種オガサワラグワの野生復帰:第 62 回日本生態学会大会講演要旨集、PB2-131:2015.03
3. 磯田 圭哉・笹島 芳信・岩泉 正和:希少樹木講座 3:近畿・中国・四国地方における絶滅危惧種の保全:樹木医学研究、18(2):57-61:2014.7
4. 三浦 真弘・長谷部 辰高・千葉 信隆:希少樹木講座 4:東北地方における希少樹種の保全:樹木医学研究、19(1)41-45:2015.01
5. 岩泉 正和・河合 慶恵・篠崎 タ子・村上 丈典・磯田 圭哉・大谷 雅人・那須 仁弥:アカマツ広域産地試験の関西育種場における 2 年生実生苗の成長と生存特性:応用森林学会大会研究発表要旨集 65、28:2014.11
6. 岩泉 正和:アカマツ天然集団の景観スケールにおける遺伝的多様性:関西育種場だより 75、2:2014.11

7. 岩泉 正和・檜木野 俊昭・笹島 芳信・祐延 邦資・磯田 圭哉:平成 26 年に見られた稀少樹種トガサワラ及びシコクシラベの大量結実とジーンバンク収集について:平成 26 年度四国森林・林業研究発表会発表集:2015. 02
8. 岩泉 正和・檜木野 俊昭・笹島 芳信・祐延 邦資・磯田 圭哉:関西育種場における稀少樹種保全の取り組みー平成 26 年に見られたトガサワラ及びシコクシラベの大量結実とジーンバンク収集ー:林木遺伝資源連絡会誌 2014 年 No. 3:2015. 03
9. 岩泉 正和・磯田 圭哉・大谷 雅人・佐藤 新一・那須 仁弥・生方 正俊:アカマツ天然集団の景観スケールにおける成木と散布種子の遺伝的関係:日本生態学会大会講演集 62:2015. 03
10. 玉城 聡:ミニ林木育種事典「絶滅危惧種」:東北の林木育種、207:14:2015. 01
11. 大谷 雅人:岐阜県郡上市におけるユキバタツバキの探索・収集:林木育種情報、16:6:2014. 07
12. 星崎 和彦(秋田県立大)・松下 通也・柴田 銃江・野口 麻穂子:局所林分の林相が異なる溪畔景観における種子散布制限:生態学会要旨集 62: PA2-144:2015. 03

102 分類、同定、評価

1. 山田 浩雄・橋本 良二(岩手大学):シイノキ種子における出芽タイミングの変異:植物地理・分類研究、61(2):95-102:2014. 06
2. 岩泉 正和:アカマツの種子形成と充実に受粉の有無と花粉の質がおよぼす影響:森林遺伝育種 4、7-11:2015. 01
3. 宮本 尚子・山田 浩雄・飯塚 和也・遠藤 圭太・木村 恵・那須 仁弥・大谷 雅人・半田 孝俊・星 比呂志・生方 正俊:スギ遺伝資源における L*a*b*表色系による心材色変異:第 126 回日本森林学会大会講演要旨集、126:P1B092:2015. 03
4. 飯塚 和也(宇都宮大学)・大島 潤一(宇都宮大学)・宮本 尚子・逢澤 峰昭(宇都宮大学)・大久保 達弘(宇都宮大学)・石栗 太(宇都宮大学)・横田 信三(宇都宮大学):スギにおける幼齡木のカリウムと放射性セシウムの挙動および成木心材のカリウムの分布:第 126 回日本森林学会大会講演要旨集、P1B147:2015. 03
5. 大谷 雅人・高橋 誠・後藤 晋(東京大学):東京大学富士癒しの森研究所のブナ産地試験地における葉形態の産地間・系統間変異:日本生態学会第 62 回大会講演要旨集、PA2-048:2015. 03
6. 大谷 雅人・遠藤 圭太・木村 恵・那須 仁弥・宮本 尚子・宮下 智弘・生方 正俊:滅失が危惧される日本のキリ属植物栽培系統の形態的・遺伝的特性:第 126 回日本森林学会大会講演要旨集、P1B080:2015. 03
7. 大谷 雅人:林木育種センターの植物紹介キリ:林木育種情報、16:8:2014. 07
8. 大谷 雅人:林木育種センターの植物紹介クロビイタヤ:林木育種情報、17:8:2015. 01
9. 大谷 雅人:林木育種センターの植物紹介クロボウモドキ:林木育種情報、18:8:2015. 03
10. KATO Shogo(加藤 正吾・岐阜大学)・MORITO Hiroshi(森戸 寛・岐阜大学)・HANAOKA So(花岡 創)・KOMIYAMA Akira(小見 山章・岐阜大学):Relationship between distribution of erect shoots in two root-climbing lianas Schizophragma hydrangeoides and Hydrangea petiolaris (Saxifragaceae) and light environment on the forest floor(林床におけるイワガラミとツルアジサイの直立茎形成場所と光環境):森林立地、56(1):49-54:2014. 06
11. ISOGIMI Tomohiro(五十君 友宏・名古屋大)・MATSUSHITA Michinari(松下 通也)・NAKAGAWA Michiko(中川 弥智子・名古屋大):Species-specific sprouting pattern in two dioecious Lindera shrubs: the role of physiological integration:Flora 209(12):718-724:2014. 12

12. WANG Hui(王 けい・名古屋大)・MATSUSHITA Michinari(松下 通也)・TOMARU Nobuhiro(戸丸 信弘・名古屋大)・NAKAGAWA Michiko(中川 弥智子・名古屋大):Differences in female reproductive success between female and hermaphrodite individuals in the subdioecious shrub *Eurya japonica* (Theaceae):*Plant Biology* 17(1):194-200:2015. 01
13. NAKAGAWA Michiko(中川 弥智子・名古屋大)・ISOGIMI Tomohiro(五十君 友宏・名古屋大)・INANAGA Michiko(稲永 美智子・名古屋大)・ABE Kosei(安倍 晃生・名古屋大)・OKADA Tomoya(岡田 智也・名古屋大)・WATANABE Yoichi(渡辺 洋一・名古屋大)・KOBAYAKAWA Koji(小早川 浩二・名古屋大)・TOYAMA Chikage(遠山 千景・名古屋大)・ITO Keisuke(伊藤 圭佑・名古屋大)・KAWASHIMA Naomichi(川島 直通・名古屋大)・OTANI Kanae(大谷 奏恵・名古屋大)・HORI Megumi(堀 めぐみ・名古屋大)・TANI Saori(谷 早央理・名古屋大)・HIGUCHI Keigo(樋口 恵吾)・ASANO Iku(浅野 郁・名古屋大)・KAWAHARA Kazuma (川原 和真・名古屋大)・YAMAUCHI Ayaka(山内 綾花・名古屋大)・KATO Daisuke(加藤 大輔・名古屋大)・MATSUSHITA Michinari(松下 通也):Inter-specific and sexual differences in architectural traits of two dioecious *Lindera* species (Lauraceae):*Plant Ecology* 216(1):99-109:2015. 01
14. 松下 通也・星崎 和彦(秋田県大)・井上 みずき(秋田県大)・石川 雄一(秋田県大)・石井 弘明(神戸大)・堀田 佳那(神戸大)・高田 克彦(秋田県大)・蒔田 明史(秋田県大):樹齡 300 年前後の天然秋田スギの肥大成長特性:個体特性とサイズ、競争および環境効果の統合的モデリング:森林学会要旨集 126: G-5:2015. 03
15. 齋藤 晶(弘前大)・赤田 辰治(弘前大)・西谷 信一郎(大阪府立箕面東高)・松下 通也・永松 大(鳥取大)・鳥丸 猛(三重大):雌雄異株性低木種ヒメアオキの性特異的遺伝:マーカーの開発:森林学会要旨集 126: P2B145:2015. 03
16. 楠城 時彦・尾坂 尚紀・板鼻 直榮・古本 良:西表希少樹種トゲミノイヌチシャの着果状況調査及び種子の特性評価:亜熱帯森林・林業研究発表会要旨集(平成 26 年度)、P10:2014. 08
17. 楠城 時彦・尾坂 尚紀・板鼻 直榮・古本 良:西表産希少樹種の着果および種子の特性評価:九州森林学会大会講演要旨集、70:504:2014. 10

103 情報管理

1. Naoko MIYAMOTO(宮本 尚子)・Masako ONO(小野 雅子)・Atsushi WATANABE(渡辺 敦史・九州大学):Construction of a Core Collection and Evaluation of Genetic Resources for *Cryptomeria japonica* (Japanese cedar)(スギ・コアコレクションの作成と遺伝資源の評価):*Journal of Forest Research*, 20(1):186-196:2014. 07
2. 宮本 尚子・那須 仁弥・大谷 雅人・生方 正俊・藤澤 義武:スギ遺伝資源のコアコレクションの作成:森林総合研究所平成 26 年研究成果選集:2014. 07
3. 宮本 尚子:スギコアコレクションの作成および遺伝資源の評価:林木遺伝資源連絡会誌 2014、No. 1:2014. 10
4. 竹田 宣明・松永 孝治・武津 英太郎・福山 友博・大城 浩司・濱本 光・澤村 高至・松永 順・佐藤 省治・千吉良 治・倉本 哲嗣・渡辺 敦史(九大院農)・小野 雅子・平尾 知士・平岡 裕一郎・栗田 学・高橋 誠:QR コード現地発行システム(ラベルふえる君)を用いた増殖配布業務における材料管理:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:26:2014. 11

1 1 天然林等の育種

1 1 1 天然林の育種

1. 生方 正俊・佐藤 新一・大久保 典久・中田 了五・長谷部 辰高:高標高域のカラマツ天然林における種子の成熟時期の個体間変異:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、27:2014. 11
2. 木村 恵:森の研究:私のテーマ「DNA 解析から見えてきた天然性スギ林の更新様式」:グリーン・パワー、8:12:2014. 08
3. KIMURA K Megumi(木村 恵)・UCHIYAMA Kentaro(内山 憲太郎)・NAKAO Katsuhiko(中尾 勝洋・森林総研 PD)・MORIGUCHI Yoshinari(森口 善成・新潟大)・Lerma San Jose-Maldia(森林総研 PD)・TSUMURA Yoshihiko(津村 義彦):Evidence for cryptic northern refugia in the last glacial period in *Cryptomeria japonica*(最終氷期におけるスギの北部隠蔽逃避地):Annals of Botany、114(8):1687-1700:2014. 10
4. 木村 恵・岩泉 正和・那須 仁弥・宮本 尚子・大谷 雅人・山田 浩雄・生方 正俊:阿武隈高地森林遺伝資源保存林におけるマツ材線虫病によるアカマツ遺伝資源の10年間の変化:第3回森林遺伝育種学会大会講演要旨集、8:2014. 11
5. 木村 恵・岩泉 正和・那須 仁弥・宮本 尚子・大谷 雅人・山田 浩雄・生方 正俊:東北地方のアカマツ天然林におけるマツ材線虫病によるアカマツ遺伝資源の10年間の変化:第62回日本生態学会大会プログラム:2015. 1
6. 木村 恵・内山 憲太郎・酒井 敦・大谷 達也・河原 孝行・津村 義彦:択伐施業が天然性スギ林の遺伝的多様性に与える影響:第126回日本森林学会大会講演要旨集、126:P2B045:2015. 3
7. 長島 崇史(新潟大学)・木村 恵・津村 義彦(筑波大学)・本間 航介(新潟大学)・阿部 晴恵(新潟大学)・崎尾 均(新潟大学):台風と積雪がスギのクローン構造に与える影響 日本森林学会誌、97(1):10-18:2015. 3
8. SATO Miyako(佐藤 都子・秋田県立大学)・HASEGAWA Yoichi(長谷川 陽一・秋田県立大学)・MISHIMA Kentaro(三嶋 賢太郎)・TAKATA Katsuhiko(高田 克彦・秋田県立大学):Isolation and characterization of 22 EST-SSR makers for the genus *Thujopsis* (CUPRESSACEAE)(アスナロ属におけるEST-SSRマーカーの開発):Applications in Plant ScienceDOI:10. 3732/apps. 1400101:2015. 02
9. 佐藤 都子(秋田県立大学)・長谷川 陽一(秋田県立大学)・三嶋 賢太郎・高田 克彦(秋田県立大学):アスナロ属(ヒバ、アスナロ)天然林を対象としたEST-SSRマーカーによる遺伝構造解析:第126回日本森林学会大会学術講演集:P1B063:2015. 03
10. 宮田 翔介(九州大学)・岩泉 正和・井城 泰一・田村 美帆(九州大学)・渡辺 敦史(九州大学):クロマツ多様性評価に基づく抵抗性品種の再評価:日本森林学会大会学術講演集126:2015. 03
11. 大谷 雅人・那須 仁弥・生方 正俊・坂下 智宏(東京都小笠原支庁)・福寿 兼央(東京都レンジャー)・島田 律子(東京都レンジャー)・熊本 舞子(東京都レンジャー)・後藤 雅文(東京都レンジャー)・脇山 成二(自然環境研究センター)・板鼻 直栄:小笠原諸島弟島で確認された絶滅危惧種オガサワラグワの実生の遺伝的評価:関東森林研究、65(2):323-326:2014. 07
12. 梶田 梨絵(広島大学)・近藤 俊明(広島大学)・大谷 雅人・中村 剛(台湾中央研究院)・横田 昌嗣(琉球大学)・奥田 敏統(広島大学)・山田 俊弘(広島大学):遺伝子に刻まれたビロウの歴史-九州・四国に点在するビロウ集団はいかにして成立したのか:日本生態学会第62回大会講演

要旨集、PA1-045:2015.03

13. Takeshi Torimaru(鳥丸 猛・弘前大)・ Yuichi Takeda(武田 祐一・名大)・ Michinari Matsushita(松下 通也)・ Ichiro Tamaki(玉木 一郎・岐阜森林アカデミー)・ Junji Sano(佐野 淳之・鳥取大)・ Nobuhiro Tomaru(戸丸 信弘・名大):Family-specific responses in survivorship and phenotypic traits to different light environments in a seedling population of *Fagus crenata* in a cool-temperate forest:Population Ecology 57:77-91:2015.1

1 2 外国樹種の育種

1 2 1 外国樹種の育種

1. 板鼻 直榮・尾坂 尚紀・楠城 時彦・古本 良:西表島におけるアカシア・ハイブリッド(*Acacia mangium*×*Acacia auriculiformis*)交雑家系の初期成長の家系間変異:森林遺伝育種学会大会講演要旨集、3:12:2014.8
2. Thwe-Thwe-Win(トウエ・トウエ・ウィン・東京大学)・HIRAO Tomonori(平尾 知士)・WATANABE Atsushi(渡辺 敦史・九州大学)・GOTO Susumu(後藤 晋・東京大学):Current genetic structure of teak (*Tectona grandis*) in Myanmar based on newly developed chloroplast single nucleotide polymorphism and nuclear single sequence repeat markers.(葉緑体DNA マーカー及び核 SSR マーカーをもとにしたミャンマーにおけるチークの遺伝的多様性評価):Tropical Conservation Science、8(1):235-256:2015.03
3. Thwe-Thwe-Win(トウエ・トウエ・ウィン・東京大学)・WATANABE Atsushi(渡辺 敦史・九州大学)・HIRAO Tomonori(平尾 知士)・ISODA Keiya(磯田 圭哉)・ISHIZUKA Wataru(石塚 航・東京大学)・GOTO Susumu(後藤 晋・東京大学):Genetic diversity of teak population in native regions and plantations in Myanmar detected by microsatellite markers.(マイクロサテライトマーカーで明らかにされた自生地域におけるチーク天然集団とミャンマーにおける人工林の遺伝的多様性):東京大学農学部演習林報告、132:1-15:2015.03
4. 加藤 一隆:テリハボクの枝性における家系間変異:平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会研究発表要旨、13 頁:2014.8
5. 加藤 一隆:テリハボクの枝性における家系間変異:平成 26 年度亜熱帯森林・林業研究会・研究発表論文集:2014.08
6. MIYASHITA Hisaya(宮下 久哉):James K. NDUFA (Kenya Forestry Research Institute) Variation of wood density in the plus tree clones of *Melia volkensii* selected from drylands of Kenya:International Symposium on Wood Science and Technology 2015 (IAWPS 2015)、5FS-P08:2015.03
7. Nellie Mugure ODUOR (Kenya Forestry Research Institute), MIYASHITA Hisaya(宮下 久哉):Basic density in *Melia volkensii* International Symposium on Wood Science and Technology 2015 (IAWPS 2015)、5FS-P09:2015.03
8. 山野邊 太郎・千葉 信隆:東北育種場におけるケニア共和国 JICA プロジェクト対応 森林遺伝育種 3:128-132:2014.7
9. HANAOKA So(花岡 創)・NAKAWA Norio(中和 範雄)・OKUBO Norihisa(大久保 典久)・Stephen Frederic Omondi(KEFRI)・Jason Kariuki(KEFRI):Seed pretreatment methods for improving

germination of *Acacia tortilis*. (*Acacia tortilis* の発芽促進手法): African Journal of Biotechnology, 13(50):4557-4561:2014. 12

10. 花岡 創・Stepehn Omondi (KEFRI)・松下 通也・John Gicheru (KEFRI)・Joseph Machua (KEFRI): 東アフリカ半乾燥地域に分布する *Melia volkensii* の遺伝構造とその成立要因: 第 62 回日本生態学会、PA2-034:2015. 03

1 3 会議報告

1. 三浦 真弘・平岡 裕一郎:2014 IUFRO Tree Breeding Conference に参加して: 森林遺伝育種、3: 195-198:2014. 01
2. 倉本 哲嗣: 品種の開発や普及に向けた研究成果を発表ー第 70 回九州森林学会で研究成果を発表ー: 九州育種場だより、30:5:2015. 01

1 4 プログラム開発

1 4 1 プログラム開発

1. 山野邊 太郎: バーコードを用いた立体配置サンプルおよび移動するサンプルの時系列データ蓄積: 第 3 回森林遺伝育種学会講演要旨集: ポスター12:2014. 11

1 5 その他

1. 渋井 宏美(北海道大学)・遠藤 圭太・佐野 雄三(北海道大学): シラカンバ樹皮組織に含まれる有機結晶: 日本木材学会北海道支部講演集、46:1-4:2014. 11
2. 渋井 宏美(北海道大学)・遠藤 圭太・幸田 圭一(北海道大学)・佐野 雄三(北海道大学): シラカンバ樹皮組織におけるベチュリン結晶の分布: 第 65 回日本木材学会大会研究発表要旨集:A18-01-0930:2015. 03
3. 加藤 一隆: 林木育種開発品種説明会の開催: 森林遺伝育種、3 巻、142-144 頁:2014. 7
4. 平岡 裕一郎・平尾 知士: 植物および動物ゲノム国際学会(Plant & Animal Genome XXII)の概要: 森林遺伝育種 3 (2): 92-95:2014. 04
5. 松下 通也・坪田 裕希(秋田県立大)・星崎 和彦(秋田県立大): 落葉散布プロセスを考慮した落葉分解速度のホーム・フィールド・アドバンテージの定量: 生態学会要旨集 62: PA2-003:2015. 03
6. 矢野 慶介・田村 明・福田 陽子・織田 春紀・中田 了五・山田 浩雄: 北海道白糠町に設定したヤナギ類さし木試験地における 3 年次成長量のクローン間変異: 日本森林学会大会学術講演集、126:134:2015. 03
7. 松本 斉(東京大学)・石井 潤(東京大学)・大谷 雅人・鷺谷 いづみ(東京大学): 樹冠サイズを指標とした保全上重要な森林域の抽出手法の開発: 北限域ブナ二次林への適用: 保全生態学研究、19:67-77:2014. 05
8. 澤田 佳宏(淡路景観園芸学校)・指村 奈穂子(琉球大学)・池田 明彦(品川区公園課)・大谷 雅人・須貝 杏子・内貴 章世(琉球大学)・中山 博子(神奈川県)・古本 良・横川 昌史(大阪自然史博物館): 希少樹種クロボウモドキ (バンレイシ科) の生育立地と植生: 植生学会第 19 回

大会講演要旨集、P06:2014. 10

9. 指村 奈穂子(琉球大学)・大谷 雅人・古本 良・横川 昌史(大阪自然史博物館)・澤田 佳宏(淡路景観園芸学校):新潟県における海岸の希少種バンクルモンの分布・個体群構造と植生の関係:植生学会第 19 回大会講演要旨集、P04:2014. 10
10. 指村 奈穂子(琉球大学)・池田 明彦(品川区公園課)・大谷 雅人・澤田 佳宏(淡路景観園芸学校)・須貝 杏子・内貴 章世(琉球大学)・古本 良・横川 昌史(大阪自然史博物館):希少樹種クロボウモドキ (バンレイシ科) の個体群構造:日本生態学会第 62 回大会講演要旨集、PA2-038:2015. 03
11. 松本 斉(東京大学)・石井 潤(東京大学)・大谷 雅人・鷲谷 いづみ(東京大学):奄美大島の亜熱帯照葉樹林の生物多様性指標候補としての大径木:日本生態学会第 62 回大会講演要旨集、PB1-129:2015. 03
12. 有馬 玖瑠美(京都大学)・大谷 雅人・石井 智陽(桐生自然観察の森)・寺内 優美子(桐生自然観察の森)・井鷲 裕司(京都大学):絶滅危惧種カッコソウ局所個体群の遺伝構造と繁殖パフォーマンス:日本生態学会第 62 回大会講演要旨集、PB1-162:2015. 03